

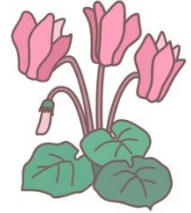
八木山小だより



学校教育目標「自立心のある子」

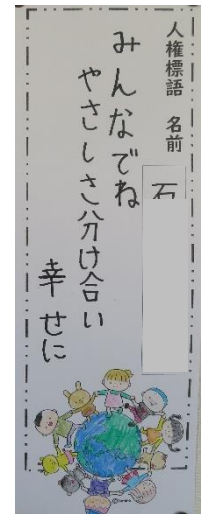
令和5年11月30日発行

人権について考える



昭和23年、国際連合第3回総会において「世界人権宣言」が採択されました。2年後には、「世界人権宣言」が採択された12月10日が「人権デー」と定められ、毎年12月4日～10日を人権週間として、人権尊重思想の普及高揚のための様々な取組が行われます。

本校でも、例年11月末から12月の始めにかけて、人権について学んだり考えたりする時間を設けています。11月27日（月）の朝活動の時間には人権集会を行い、ビデオ「みんないちばん」を視聴して人権について考えました。人はそれぞれ自分だけの一番（よさ）をもっていること、そのよさを自覚したりお互いに認め合ったりすることの大切さを伝える内容でした。周りの人と比べてしまい、自分のできないことや弱いところに目が行き、「自分はダメだ」「自分にはよいところなんてない」と思うてしまうことがあります。また周りの人についても、良くないところは気づきやすいけれど、良さは見ようとしないと見えてこないものです。自分にも、周りの人にも、必ずある「一番」を見つけ、それぞれの「一番」を認め合うことを大切にしてほしいことを子どもたちに伝えました。ぜひ、ご家庭でも、お子さんが自分のよさに気づくことができるようなお話をしてあげてください。



☆ジャンプアップ公表会

令和3年度から今年度までの3年間、「教育ジャンプアップ事業」として、市内全ての小中学校が「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業改善に取り組み、その成果を公表してきました。今年度は本校を含む8校が授業を公開しました。本校は、「自分の考えをもち、仲間と学び合う子の育成」を研究主題に掲げ、算数を研究教科として実践を重ねてきました。変化の激しい、予測困難と言われる未来を生きる子どもたちが、かつて経験したことがないような問題に直面したときに必要となる生きる力、具体的には、身に付けた知識・技能や見方・考え方を生かして解決までの見通しをもち粘り強く課題解決に向かう力、多様な他者との対話や協働を通してよりよい解決策を見出す力、そして、課題解決に向かう自分の姿を振り返り調整する力を身に付けられることを大切に授業改善に取り組みました。



算数アンケート

- 算数の勉強が好き
【R3】42% ⇒ 【R5】54%
- 算数の授業で「できた」「わかった」と思う時がよくある
【R3】62% ⇒ 【R5】72%

子どもたちが見通しをもち、主体的に課題解決に向かうことができるように、算数的な見方や考え方、キーワードを集めた「算数BOX」を活用すること、目的や意図を明確にして小集団学習を行うこと、自分の学びを客観的に捉える振り返りを行うことなどの実践を重ねてきました。児童を対象に実施した算数アンケートからも概ね良好な結果が得られています。公表会当日は他校から多くの先生方が参観にいられましたが、子どもたちがいつも通り、主体的に課題解決に向かい、自分の考えをもち、仲間と意見交流をしながら学びを深めていく姿を見ていただくことができました。